

# 牧野富太郎揮毫 実在した旗と書

## 朝ドラ「らんまん」主人公のモデル

NHKで放送中の連続テレビ小説「らんまん」で主人公のモデルとなった植物学者、牧野富太郎(1862~1957年)が揮毫した旗と書が、岐阜市の岐阜薬科大で見つかった。牧野が1939(昭和14)年に植物採集のため、県内を訪れた際に贈られたものとされ、日本の植物学を切り開いた先人が岐阜と関わりがあったことを示す貴重な資料だ。(中川耕平)



牧野富太郎がしたためた旗と書＝岐阜市役所で

## 岐阜薬科大の標本室で発見

二十九日の市長定例会見で、柴橋正直市長が明らかにした。岐阜薬科大によれば、前身の岐阜薬学専門学校時代の各部の記録をまとめた「応援団史」の中で、三十九年七月に植物研究部が飛騨地域で実施した「夏期大採集会」に牧野が同行。指導にあたり、その際に旗と書を贈ったと記録されている。牧野の行動記録にも三十九年七月に岐阜を訪れたとの記載があるという。

高さ三層四十センチの縦長の旗には「岐阜薬学専門学校植物研究会 牧野富太郎書」と力強い書体で墨書されている。木板に張られた書には「草を褥に 木の根を枕 花

## 関わり伝える貴重な資料

と恋して五十年」と牧野が詠んだ歌がしたためられ、雅号の「牧野結網」も添えられる。牧野の業績を顕彰する高知県立牧野植物園に協力を依頼し、本人の筆跡だと確認した。

旗と書の内容については、大学の五十年史で触れられていたが、これまで確認できていなかった。「らんまん」の放送を受けて、今春あらためて調査したところ、学内の標本室で見つかった。

今回見つかった旗と書のほか、大学所蔵の牧野に関する資料を七月十一日から岐阜市歴史博物館で一般公開する。九月二十四日まで、観覧は無料。